

鹿児島商工会議所 〒892-8588 鹿児島市東千石町1番38号
TEL: 099-225-9500 FAX: 099-227-1619
http://www.kagoshima-cci.or.jp E-mail: soumu.kcci@sage.ocn.ne.jp
令和7年8月1日発行(毎月1回1日発行)



由緒のあるふるさとのお社

四十九所神社(肝付町新富)

NPO法人がこしま探検の会 東川 隆太郎

まず珍しい社名が目を引く。社名は勧請された頃から幾度となく変わってきているが、昭和8年から現在まではこの社名で落ち着いている。伊勢神宮の内宮と外宮から永観2(984)年に勧請されており、この地の統治に関与していた肝付氏の兼行によるものとされている。その後も肝付氏によって保護され、弘安6(1803)年に四十九所大明神の名が史料に登場する。御祭神が天照大神や豊宇気毘売大神など四十九柱を数えることに由来する。

戦国期までこの地に君臨していた肝付氏は、常に当社を崇拝しており、棟札などによって再興や寄進の履歴を知ることができる。肝付氏が島津氏に下った後の江戸期には、神社のある高山は島津氏の直轄領となり、高山外城もしくは高山郷と呼ばれる。その際には郷の宗廟として地域内外からの信仰を集め、慶長14(1609)年の島津氏による琉球侵攻の際には、海上航行の無事を祈る神楽が奉納されている。

当社は、高山外城の政治的中心である麓に位置しており、現在でも整然とした町割りや旧士族の屋敷などが周辺に広がっている。江戸期に当社の社司に就いていた守屋家は、麓の名家でもあり、江戸後期から明治初期にかけての神社管理などについて詳細に記録した日記「守屋舎人日帳」は、地方郷土の生活ぶりをリアルに伝える一級史料として注目されている。

また当社は、毎年10月第三日曜日に奉納される流鏝馬行事でも知られている。社殿前の馬場は舗装を施さずに保持されており、330mの区間に3本の的を置き、それを馬上から射貫くことで吉兆を占う行事である。射手は中学2年生で、訓練はもちろん、一週間前からは宮ごもりして本番に備える。また日々の訓練に地域の方々も参加し、流鏝馬の無事と成功を見守る。こうした古式を確かに支える姿勢は、神社のみならず地域の誇りといえよう。

慶応4(1868)年に社名は高山神社になり、さらに明治4(1871)年には豊受神社となった。社殿を正面にして振り返ると、流鏝馬行事の開催される馬場がまっすぐに伸び、街並みと一体化した神社の存在を体感することができた。



▲巨大な提灯やぐら



▲松本圭使カルテット
(センテラススクエア)



▲スタンプラリーを巡る人々

今年のおぎおんさあは、ウォーターフロントパークで4日間にわたり、「おぎおんさあ ナイトフェスタ」を初めて開催。地元・鹿児島が誇る焼酎やビール・キッチンカーの料理、納涼カラオケ大会やイルミネーションに、多くの来場者で連日賑わった。

7月19日(土)は、メイン会場のウォーターフロントパークや天文館地区を中心とした7つのサテライト会場で、ジャズライブやスタンプラリー・おぎおんさあ体験など、多彩なイベントが催され、中心市街地一帯は多彩な風情を堪能する来場者で終日賑わった。



▲幻想的な納涼イルミネーション



▲バラエティ豊かなキッチンカーグルメ



▲会場が大いに盛り上がった
納涼カラオケ大会

宵祭 本祭 後夜祭 後夜祭

7/18(金)・19(土) 7/20(日) 7/21(月・祝)

令和7年

おぎおんさあ



▲神魂が宿る傘鉾の妙技



▲力強く練り歩く大人神輿の勇姿



▲かわいらしい稚児花籠



▲賽銭を奉納する観客



▲健やかな成長を願う稚児上げ

20日の本祭は、センテラス天文館前から約2500人のご神幸行列が出發。歩行者天国(11時30分〜17時30分)となった高見馬場、朝日通りの沿道に詰めかけた多くの観客から、壮観・荘厳な雰囲気にな大きな拍手と歓声が沸き起こった。

7/20(日) 本祭

潮流を読む

「日本経済の長期展望を明るくするために」

大和総研は直近(6月9日)の「第225回日本経済予測(改訂版)」〔注1〕で、足元の日本の経済予測に加えて、「2040年度に向けた日本経済の長期展望」を公表した。そのテーマは「人口減少と低成長が続く日本経済は今後、成長力を強化し、社会保障や財政の持続可能性を確保することができようか」である。

このテーマの中で、最大の懸念は人口減少である。今年の6月4日に厚生労働省から公表された「令和6年(2024)人口動態統計月報年計(概数)」では、人口減少のスピードに拍車がかかっていることを示す数字が並んでいる。(1)合計特殊出生率(一人の女性が一生の間に生む子どもの数)に相当するデータは9年連続低下し1.15と過去最低を更新するとともに、統計開始以来、初めて出生数が68万6061人と70万人を割り、(2)死亡数は160万5298人で過去最多(4年連続増加)となり、(3)自然増減数は、91万9237人減で過去最大の減少となった。特に少子化のスピードには衝撃を覚える。これに対し、政府の少子化対策の役割を担う「こども家庭庁」は「少子化・人口減少は、我が国が直面する最大の危機であり、若年人口が急激に減少する2030年代に入るまでが少子化傾向を反転できるかどうかのラストチャンス」〔注2〕とし、喫緊の課題と位置付けている。2023年

12月22日に閣議決定された「こども未来戦略」では、総額3.6兆円規模に及ぶ「こども・子育て支援加速化プラン」(加速化プラン)を取りまとめた。さらに、24年6月12日には「子ども・子育て支援金制度」の創設を内容に含む法律「改正子ども・子育て支援法」が成立し、25年4月1日から同支援法の一部が施行されている。これらを踏まえ、政府も手をこまねいては行けないが、加速化する少子化に対策が十分とはいえない。

「2040年度に向けた日本経済の長期展望」では、次の懸念事項として、40年度まで低成長が続くのではないかとこのことを挙げている。過去の日本経済の潜在成長率の推移を見ると、「1980年代後半で年率+4%程度だった潜在成長率(中略)は(中略)1990年代の終盤に同+1%を割り込んだ。その後も緩やかな低下傾向が続く。近年は同+0.5%前後で推移している」(注1レポト p.19)と整理している。この長期にわたる潜在成長率の低下は、財政出動や金融緩和だけでは解決できない構造問題〔注3〕が主因としていえる。つまり、これらの構造的な要因によって、①可処分所得の低下(賃金見通し悪化、低い資産所得など)②個人消費低迷(①により働き手の平均消費性向(可処分所得のうち消費に回る割合)が低下)③外需主導による企業収益は拡大している一方、内需

主導の企業収益が相対的に低下④国内投資が低水準(内需型の企業の期待成長率が低く、国内の投資性向が低水準)であり、循環が弱い、経済成長が見込めないという悪循環に陥っている。

結局、好循環を生むスタートポイントとは個人(家計)である。このため、国内外の大きな社会・経済の変化、生成AIなどのテクノロジーの劇的な進化の中で、生産性の高い労働力を提供し、賃金上昇を継続的に確保でき、消費性向が高い個人(家計)が継続的に増えることに、今後の経済成長は大きく依存することとなる。そのためには、「健康・就労継続」「外国人・女性活躍」「労働市場改革・就労促進」などの労働供給力強化のための政策が最も重要である。同予測においても、これらの「政策効果が最大限発現すれば、潜在GDPを2040年度で14.6%(86兆円)程度押し上げると試算」(注1レポト p.22)している。

ただし、潜在成長率の停滞から抜け出すことは簡単ではない。同予測では、三つのシナリオ(衰退・現状投影・高成長)が想定されている。この三つのシナリオによれば、25〜40年度の実質GDP成長率は、順番に、年率▲0.5%、同+0.3%、同+1.5%である。つまり、最後のシナリオ以外は引き続き停滞が続くこととなる。ただし、最後のシナリオでも、社会保険料率と公債等残高対GDP比の上昇は続く(注1レポト p.18)としている。これまで以上のスピードで官民が連携して、労働供給力強化のための政策を、最優先で実現していくことが重要ではないか。

(6月20日執筆)



内野 逸勢
(うちの・はやなり)

PROFILE

静岡県出身。1990年慶応義塾大学法学部卒業。大和総研入社。企業調査部、経営コンサルティング部、大蔵省財政金融研究所(1998〜2000年)出向などを経て現職(金融調査部 主席研究員)。専門は金融・資本市場、金融機関経営、地域経済、グローバルガバナンスなど。主な著書・論文に『地銀の次世代ビジネスモデル』2020年5月、共著(主著)、『FinTechと金融の未来〜10年後に価値のある金融ビジネスとは何か?〜』2018年4月、共著(主著)、『JAL再生 高収益企業への転換』日本経済新聞出版、2013年1月、共著。IAASB CAG(国際監査・保証基準審議会 諮問・助言グループ)委員(2005〜2014年)。日本証券経済研究所「証券業界とフィンテックに関する研究会」(2017年)。

株式会社大和総研
金融調査部 主席研究員

内野 逸勢

〔注1〕詳しくは大和総研「第225回日本経済予測(改訂版)」人口減少下の日本、持続的成長への道筋①成長力強化、②社会保障制度改革、③財政健全化、を検証」の18ページから35ページ参照
〔注2〕こども家庭庁「子ども・子育て支援金制度について」
〔注3〕①経済社会基盤の持続可能性の低下②デフレ下で定着したコストカット型の企業行動③産業空洞化④海外への所得流出⑤リスクマネーの供給不足(注1レポト p.19)の五つを挙げている。

trend communication

トレンド通信



「待たせ上手」なお店が教えてくれるもの」

先日訪れた岐阜市のとんかつ屋さ
んで面白い体験をしました。あらか
じめネットで調べたところとても高
評価なお店なので、お昼の開店時間
に合わせて訪ねました。最近はやりの
高級なとんかつ屋さんにあるよう
に、何種類かの銘柄豚から選べるメ
ニューになっています。注文を伝え
ると店員さんが「当店はじっくり低
温で揚げますので、20〜30分ほどお
時間をいただきます」とのことでした。
私はマニアに近いとんかつ好き
なので、良いお店ではそれくらい待
つのには珍しくないと思いました。

するとカウンター越しに見える
キッチンでスタッフがやおら土鍋を
取り出して、私が注文した分のごはん
を炊き始めました。始めは気が付
かなかったのですが、客席から見え
る位置にガスコンロが7〜8台ずら
りと並んでいて、そこにごはんを炊
く土鍋が四つほどのついています。先
に注文した客の分でしょう。その隣

に「私のごはん」がセットされまし
た。

それから15分ほど、湯気を出して
徐々に炊き上がっていく土鍋をわく
わくしながら眺めていました。火を
止めて蒸らしている間に、手元に茶
わんとしゃもじ、香の物が出され、い
よいよ土鍋ごはんの到着です。ふた
を開けてもらって炊き立ての香りを
楽しんでみるうちに、メインのとん
かつもやってきました。土鍋ごはん
は炊き立て特有の甘みやうまみが
しっかり感じられてとてもおいし
く、とんかつも断面が薄ピンクで
ジューシーに仕上がった絶妙な揚げ
具合でした。出されたものの自体のお
いしさ以上に、この体験全体を通し
て忘れられないお店になりました。
次に岐阜県に行くときも必ず訪れよう
と思いました。

この「とんかつ体験」でいくつかの
気付きがありました。料理のプロセ
スが見えるため、提供されるものの

価値や品質が想像され期待が高まる
ことや、自分がいつまで待てばよい
かだいたい見当がついて待つ不安が
軽減されること、普段は得られない
サービスが自分のためだけに準備さ
れているという特別感、待つ時間が
提供されるものの品質向上につな
がっているという納得感などです。

待たせ上手なお店といえば、ファ
ミリーレストランチェーンのサイゼ
リヤの間違い探しゲームを思い浮か
べる人もいるでしょう。キッズメ
ニューに描かれた間違い探しのイラ
ストは、大人でも簡単に正解できな
いほど難易度が高く、料理を待つて
いることを忘れて時間を過ごしてい
まいます。またお客同士のコミュニ
ケーションのきっかけにもなってい
ます。

こうした待たせ上手なお店に共通
しているのは、「客を待たせている」
という自覚があること、それを「客は
どう感じているか」に対する想像力

があること、さらにそれを「通常のオ
ペレーションの中で解決する」ため
の工夫があることでしよう。

品質と価格でモノの良しあしを評
価する「コスパ」重視の時代から、そ
の消費行動自体に時間を費やす体験
としての価値があるかどうかを問わ
れる「タイプA」重視の時代になってい
ます。スマホ任せにしない客の待た
せ方に今後も注目していきたいと思
います。

地域経済アナリスト／コンサルタント

渡辺 和博



**Watanabe
Kazuhiro**

わたなべ かずひろ

PROFILE

合同会社ヒナニモ代表。1986年筑波大学大学院理工学研究科修士課程修了。同年日本経済新聞社入社。IT分野、経営分野、コンシューマ分野の専門誌の編集を担当。その後、日経BP 総合研究所 上席研究員を経て、2025年4月から現職。全国の自治体・商工会議所などで地域活性化や名産品開発のコンサルティング、講演を実施。消費者起点をテーマにヒット商品育成を支援している。著書に『地方発ヒットを生む 逆算発想のものづくり』（日経BP社）。